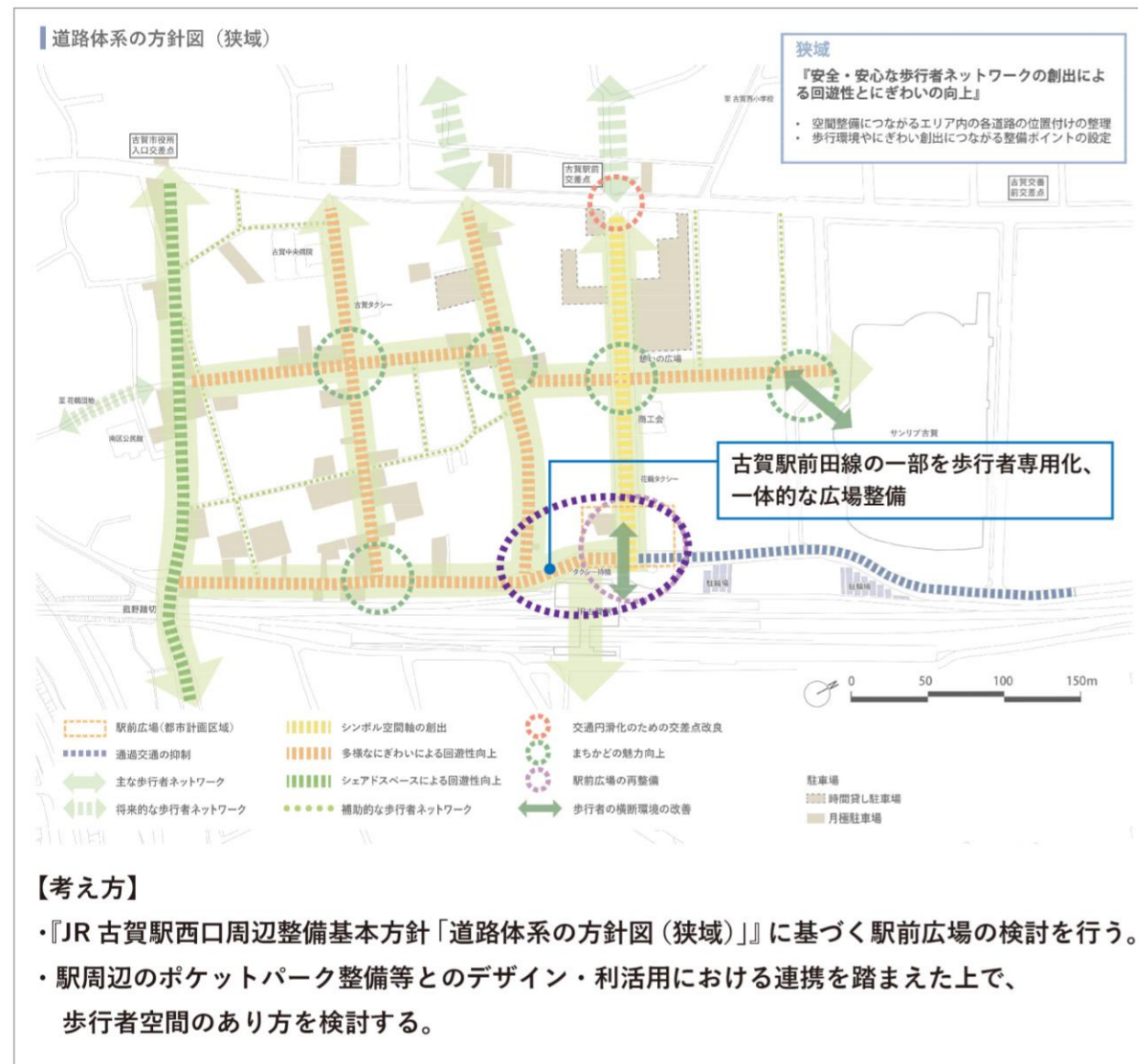


1 古賀駅西口駅前広場整備案；過年度基本方針の整理（前回資料再掲）

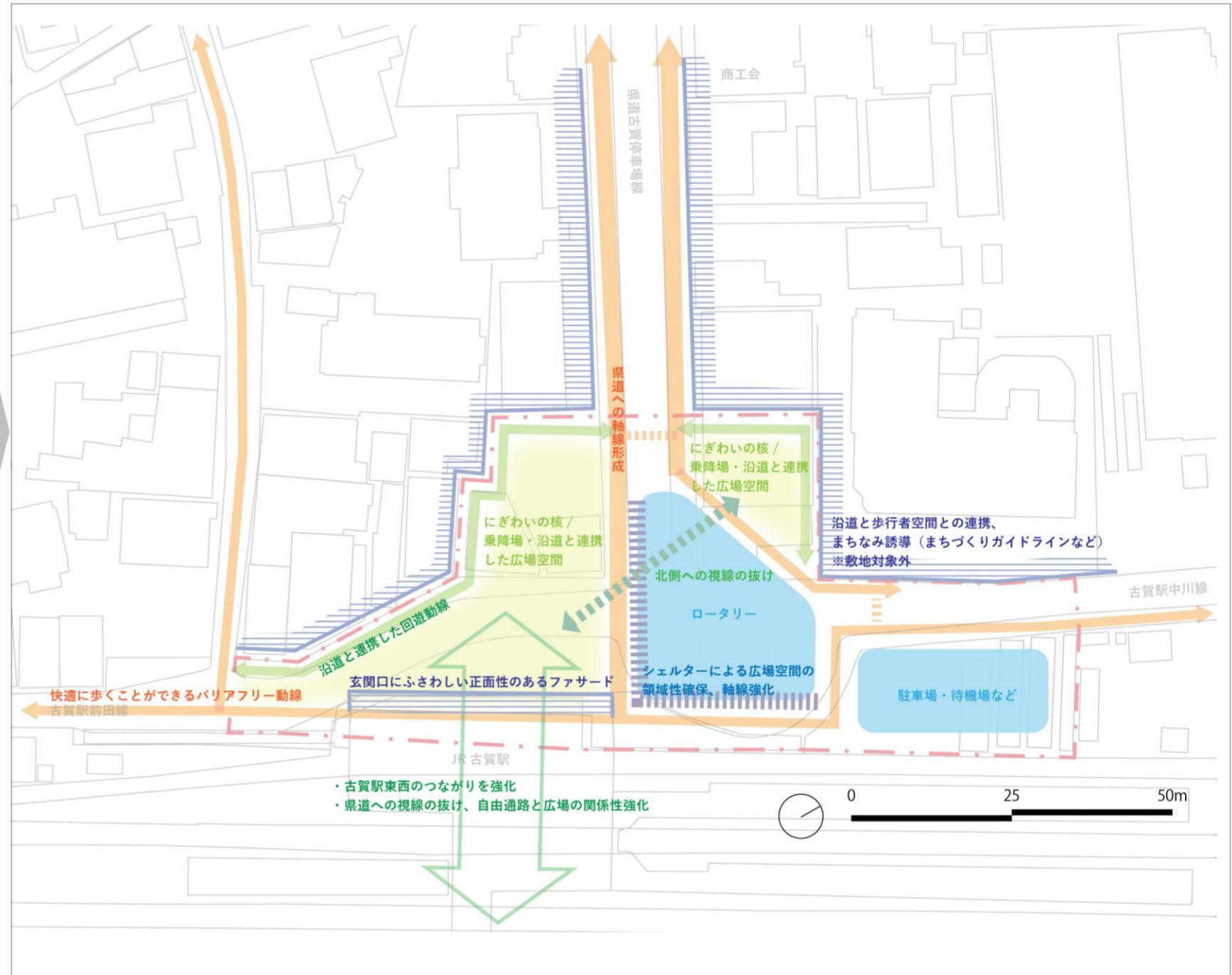
R6「JR古賀駅西口周辺整備基本方針」（左）に基づき、駅前広場の動線・ゾーニングを具体化（右）

駅前広場検討にあたっての考え方；駅前西口周辺

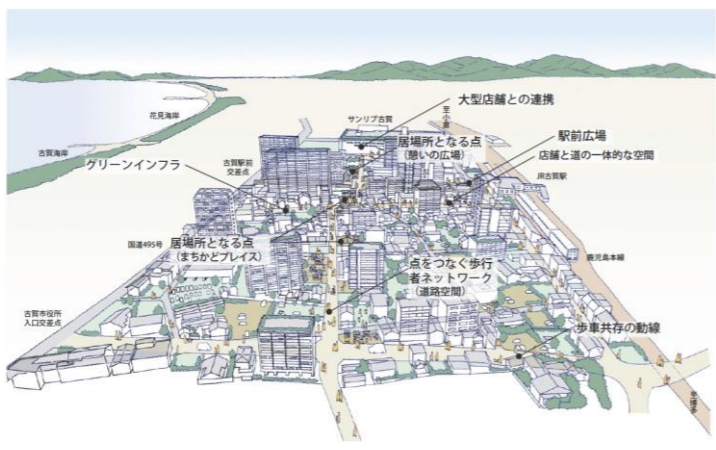

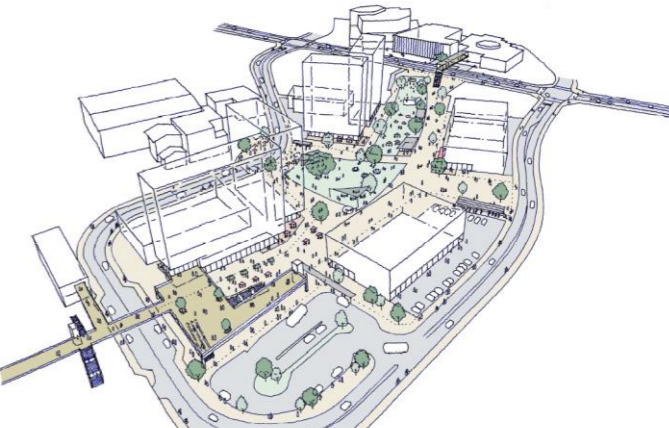


※R6年8月『JR古賀駅西口周辺整備基本方針「道路体系の方針図（狭域）」』より抜粋、加筆

駅前広場検討にあたっての考え方；動線 / ゾーニング等



2 コンセプト ; JR古賀駅東西の機能分担・整理 (前回資料再掲)

<p>広場</p>	 <p>西口広場</p>	 <p>東西自由通路</p>	 <p>東口広場</p>
<p>キーワード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○既存市街地を活かした地域との連携 ○まちなか回遊の起点 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの玄関口にふさわしいシンボル ○東西アクセスの充実、回遊の起点 ○おもてなし空間としての利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設・公園を中心とした新たな核の創出 ○広域移動の起点
<p>アクティビティ・利活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街や路地のストリートカルチャーの発信 ○商店街や憩いの広場等と連携した利活用 ○チャレンジショップ、アンテナショップ ○憩いの広場やポケットパーク、商店街等と連携した面的なエリアマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光案内所、コンビニ ○屋上広場としての象徴的な催事など ○駅前駐輪場、便益施設、トイレ、倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習ゾーン等と連携した文化的活動の発信 ○沿道・リーパズプラザこがと連携した利活用 ○防災設備を備えた子供の遊び場・学びの場 ○カフェ、キッチンカー等を中心とした公民連携による滞在空間づくり
<p>広場・公園の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○古賀市の「広場」としての象徴 ・まちなかにぎわいや人々の活動が映える路地のような広場 ○玄関口（海側）としての駅前広場 ○不整形な敷地形状を活かした広場 	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺エリアをつなぐ結節点 ○公共性の高いデザイン (バリアフリーや使いやすさなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○古賀市の「公園」としての象徴 ・古賀の緑を感じられる公園 ・さとやまエリアとつながる公園 ○玄関口（山側）としての駅前広場・公園 ○十字状の整形な敷地形状を活かした公園
<p>デザイン方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○既存市街地の魅力を高める情緒のある広場 ○柔軟に活用しやすい可変性の高い広場 (可動式什器など) ○まちなかを回遊する結節点としてのデザイン ○建築に囲まれた特性を活かした広場 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの玄関口として古賀らしさを 感じられる眺望を活かしたデザイン ○東西をつなぐデザイン（緑と光の演出等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○立体的な動線/空間構成を活かしたデザイン ○多様なイベント対応が可能な公園・芝生広場 ○公共施設等への視線の抜け ○緑の保全（大クスノキなど）・立体的な緑化

2 コンセプト ; JR古賀駅西口駅前広場 (前回資料再掲)

【デザインコンセプト】

西口駅前ならではの賑わいや交流がにじみだす、路地のような広場

- ・西口駅前のひと・まち・自然が交差し、来訪者と地域のつながりをみんなで育む玄関口
- ・商店街をはじめとした営みや地域の健やかな暮らしの気配がにじみ出し、人が集い、語り、立ち止まる居場所
- ・住民も来訪者も、多様な人々がふと足を止めて関わりたくなる、西口駅前らしい情緒ある日常がゆるやかに流れる回遊の拠点

コンセプトを実現する計画方針

導入機能・期待される使い方

整備方針・空間構成要素など

<p>①玄関口としてのまちの顔をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の印象に残るような古賀駅西口のシンボル性づくり ・駅から西口へ出た際に感じられる魅力的な第一印象づくり「センスオブアライバル」への工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・象徴的な駅舎や連絡通路ファサードの設え、視線の抜けに配慮した構成 ・利活用が広場の中心となり、周辺からも視認できる空間構成
<p>②地域の営みが見える、健やかな暮らしの舞台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント対応が可能な可動式什器や臨時ステージなど、多用途利用が可能な設備 ・チャレンジショップやキッチンカー等の出店 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両乗入に対応した舗装計画 ・イベント用電源、給水施設、倉庫などの利活用設備 ・広場を柔軟に活用しやすい可動式什器などの設え
<p>③周辺環境とつながり、まちの回遊を促す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や県道をはじめとした周辺環境との相互の視線・動線誘導の工夫 ・山ー海方向への気配など都市のオリエンテーションが感じられる設えへの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・視認しやすい日常的な滞在空間の形成 ・商店街や東口公園と連携した舗装・照明・サインなどの設計 ・山や海方向への視線誘導や遠景を活かした空間演出
<p>④古賀駅西口らしい親しみやすさや情緒をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道施設と連携した賑わいのある空間づくり ・夕日や夜景が魅力的な情緒ある空間演出 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道施設と一体感のある舗装・縁石計画 ・温かみを感じられる照明計画（間接照明、色温度など） ・地域に縁のある素材活用や植栽計画
<p>⑤自然の気配が感じられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クールスポットとしても機能する居場所づくり ・季節の移り変わりが感じられる彩り豊かな緑の演出 ・東口と連動した市民と共に育む環境学習の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑陰がとれる十分な大きさの高木植栽 ・彩りが感じられる高木（落葉・常緑）、地被植栽 ・東口公園と連携したグリーンインフラとしての機能配置

3-1 駅舎との接続性に関する比較検討

西口検討案(原案)

駅舎との接続性に関する比較検討

評価
 ○：満たす
 ◯：一部満たす
 △：満たさない

総合的にバランスのとれたA案を基本計画案として採用



案の種類	A案 県道側に縦動線配置案	B案 南北に縦動線配置案	C案 L字に縦動線配置案
模式図			
検討案の特徴	【広場の作り方】 ・昇降施設を広場に対して斜めに配置し階段が地先側からの背景となる広場空間	【広場の作り方】 ・昇降施設を南北方向に配置することで閉塞感がなく一体性のある広場空間	【広場の作り方】 ・L字に昇降施設を配置することで地先の建物を含めて領域性のある広場空間
まちとの関係性①・県道側への連続性	○ 県道側への円滑な動線が確保できる 県道側への見通しが確保しやすい	◯ 県道側への円滑な動線が確保しづらい 県道側への見通しが確保しやすい	○ 県道側への円滑な動線が確保できる 県道側への見通しが確保しやすい
まちとの関係性②・商店街側への連続性	○ 商店街への円滑な動線と商店街側の利活用空間を確保できる	○ 商店街への円滑な動線と商店街側の利活用空間を確保できる	○ 商店街への円滑な動線と商店街側の利活用空間を確保できる
交通施設(公共交通等)から駅へのアクセス バス/タクシー/身障者 アンブレラフリー動線	○ EVからのアンブレラフリー動線を確保できる	○ EVからのアンブレラフリー動線を確保できる	○ EVからのアンブレラフリー動線を確保できる
交通施設(一般車)から駅へのアクセス	○ 一般車乗降場からの視認性がより確保できる(西側・北側両方)	△ 一般車乗降場からの視認性が確保しづらい(北側のみ)	◯ 一般車乗降場からの視認性が確保できる(西側のみ)
ロータリーと歩行者空間の一体性	◯ ロータリーと歩行者空間が昇降施設によりあまり分断されない	◯ ロータリーと歩行者空間が昇降施設により分断されない	△ ロータリーと歩行者空間が昇降施設により分断される
歩行者空間における利活用空間の確保 小規模店舗/利活用倉庫/トイレの確保 デッキ・階段下の日陰スペースの確保	◯ 小規模店舗/利活用倉庫/トイレスペースを確保できる デッキ・階段下の日陰スペースを確保できる	△ 小規模店舗/利活用倉庫/トイレスペースを確保できる デッキ・階段下の日陰スペースを大きく確保できない	◯ 小規模店舗/利活用倉庫/トイレスペースを確保できる デッキ・階段下の日陰スペースを大きく確保できる
コスト 建築規模の観点から整理	◯ 建築面積が小さい	◯ 建築面積がより小さい	△ 建築面積が大きい

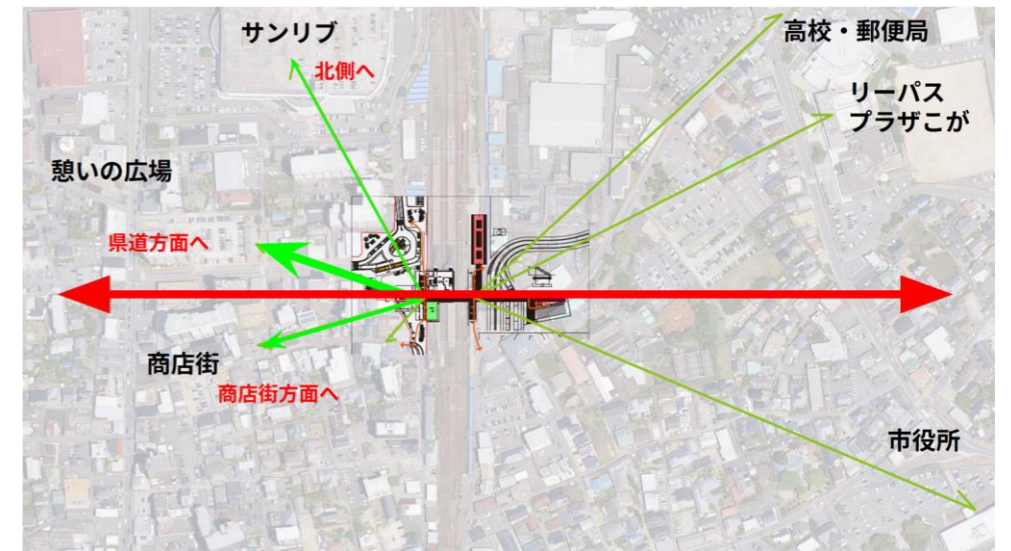


西口原案イメージ

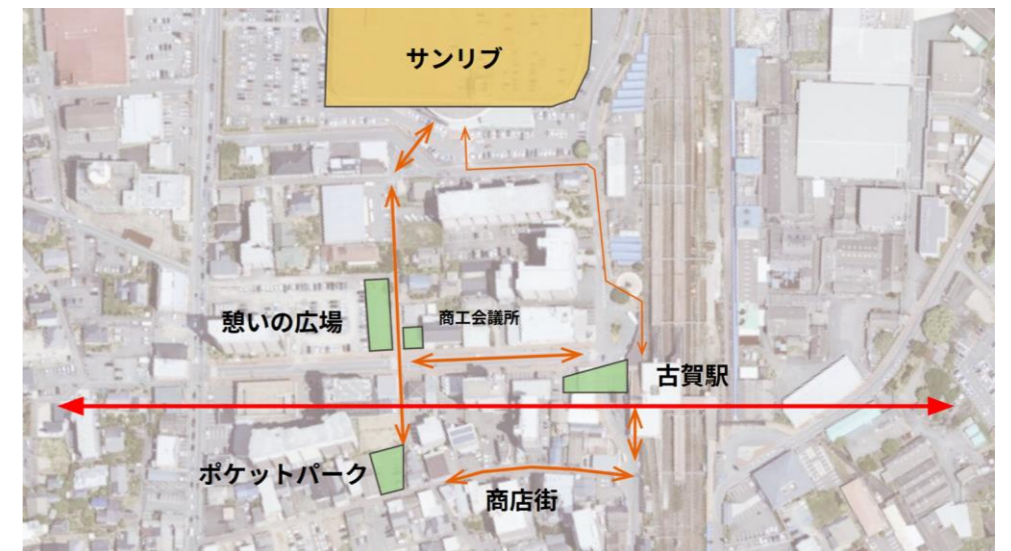
【追加検討主旨】

西口駅前のみで考えるのではなく、**まち全体や東口まで含めた駅周辺全体**として再検討

- (1)東西のトータルデザイン
自由通路による**東西の連続性**を考慮

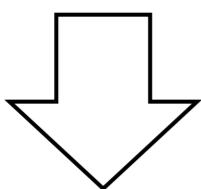


- (2)まちの回遊性
西口を広域に捉え、**まちなかを回遊**する動線を考慮



3-1 駅舎との接続性に関する比較検討

- 東西のトータルデザイン、まちの回遊性のほか、広場との関係性や象徴性についても評価項目に追加
- 原案のA案と、上記をより効果的に体现できるA'案とを改めて比較検討を実施



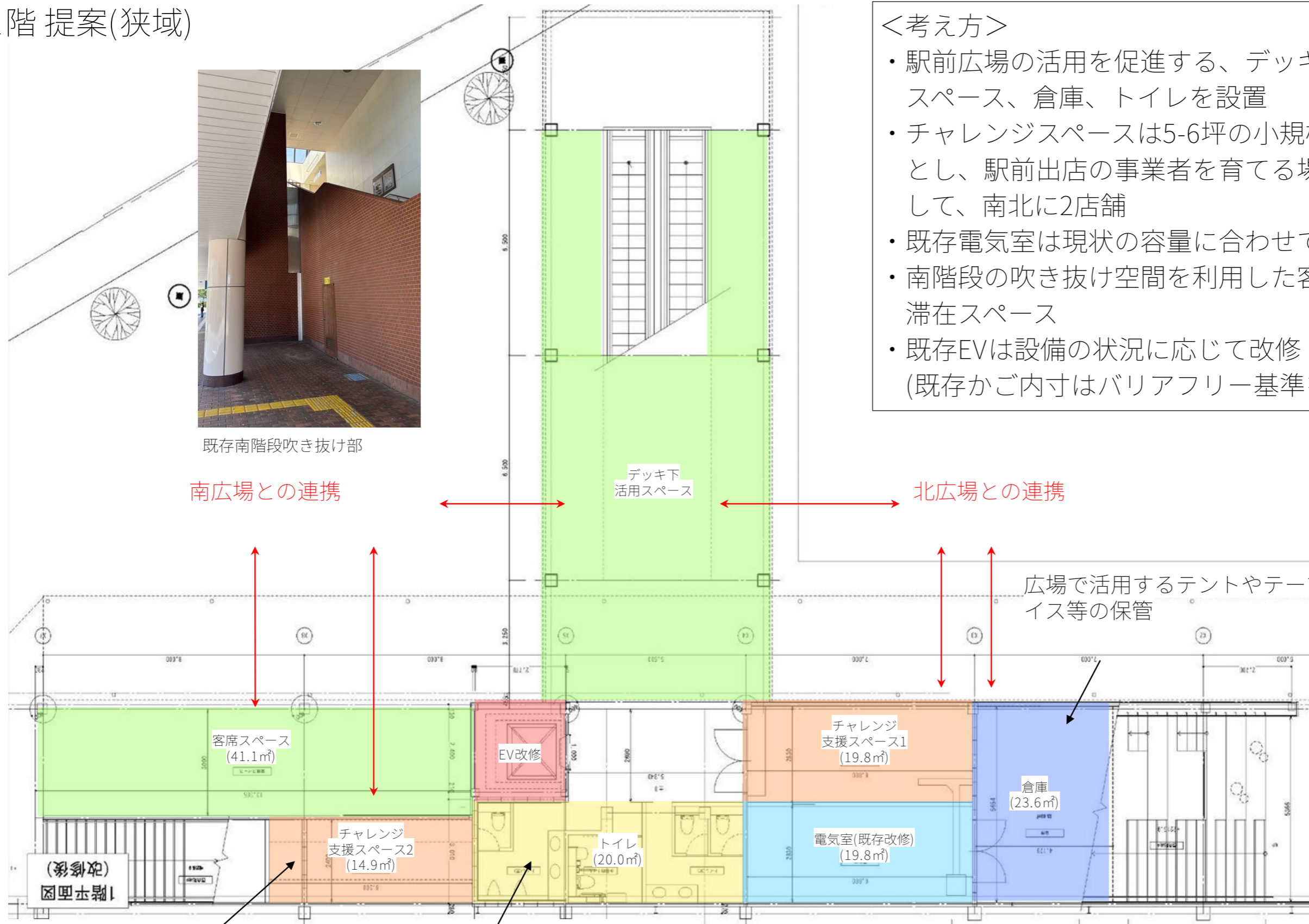
「既存の検討項目」＋「新たな検討項目」をもとに比較した結果、A'案の西にまっすぐエスカレーターを配置し北側階段を残す（縮小する）案を採用

案の種類	A案	A'案
交通施設(公共交通等)から駅へのアクセス(バス/タクシー/身障者/アンブレラフリー動線)	<input type="radio"/> 県道側に斜めにESC配置 + 北側階段撤去	<input checked="" type="radio"/> 西にまっすぐ + ESC配置 + 北側階段縮小
交通施設(一般車)から駅へのアクセス	<input type="radio"/> EVからのアンブレラフリー動線を確保できる 公共交通へのアクセス悪い	<input checked="" type="radio"/> EVからのアンブレラフリー動線を確保できる 公共交通へのアクセスよい
ロータリーと歩行者空間の一体性	<input type="radio"/> 一般車乗降場からの視認性が確保できる (西側・北側両方)	<input checked="" type="radio"/> 一般車乗降場からの視認性が確保できる (西側・北側両方)
歩行者空間における利活用空間の確保 ・小規模店舗/利活用倉庫/トイレの確保 ・日陰スペースの確保	<input type="radio"/> ロータリーと歩行者空間が昇降施設によりあまり分断されない	<input checked="" type="radio"/> ロータリーと歩行者空間が昇降施設によりあまり分断されない
コスト	<input type="radio"/> 小規模店舗/利活用倉庫/トイレスペースを確保できる デッキ・階段下の日陰スペースを確保できる	<input checked="" type="radio"/> 小規模店舗/利活用倉庫/トイレスペースを確保できる デッキ・階段下の日陰スペースを確保できる
まちとの関係性① ・西側(県道側)への連続性	<input type="radio"/> 改修面積が小さい	<input checked="" type="radio"/> 改修面積がより小さい
まちとの関係性② ・南側(商店街側)への連続性	<input checked="" type="radio"/> 西側への動線が強い	<input type="radio"/> 西側への動線が一定程度ある
まちとの関係性③ ・北側(駐輪場側)への連続性	<input checked="" type="radio"/> 商店街への円滑な動線と商店街側の利活用空間を確保できる	<input checked="" type="radio"/> 商店街への円滑な動線と商店街側の利活用空間を確保できる
広場との関係性 ・利活用空間の広さ、形状	<input type="radio"/> 北側への動線が弱い	<input checked="" type="radio"/> 北側への動線が強い
象徴性	<input type="radio"/> 大きな一つの広場空間が確保できるが不整形で使いにくい	<input checked="" type="radio"/> 大小2つの広場に分かれるが整形で利活用しやすい
東西のトータルデザイン	<input type="radio"/> ESCの象徴性が強い	<input checked="" type="radio"/> 広場の象徴性が強い
	<input type="radio"/> 曖昧	<input checked="" type="radio"/> 明確

まちの回遊性

3-2 自由通路・駅舎の計画

1階 提案(狭域)



＜考え方＞

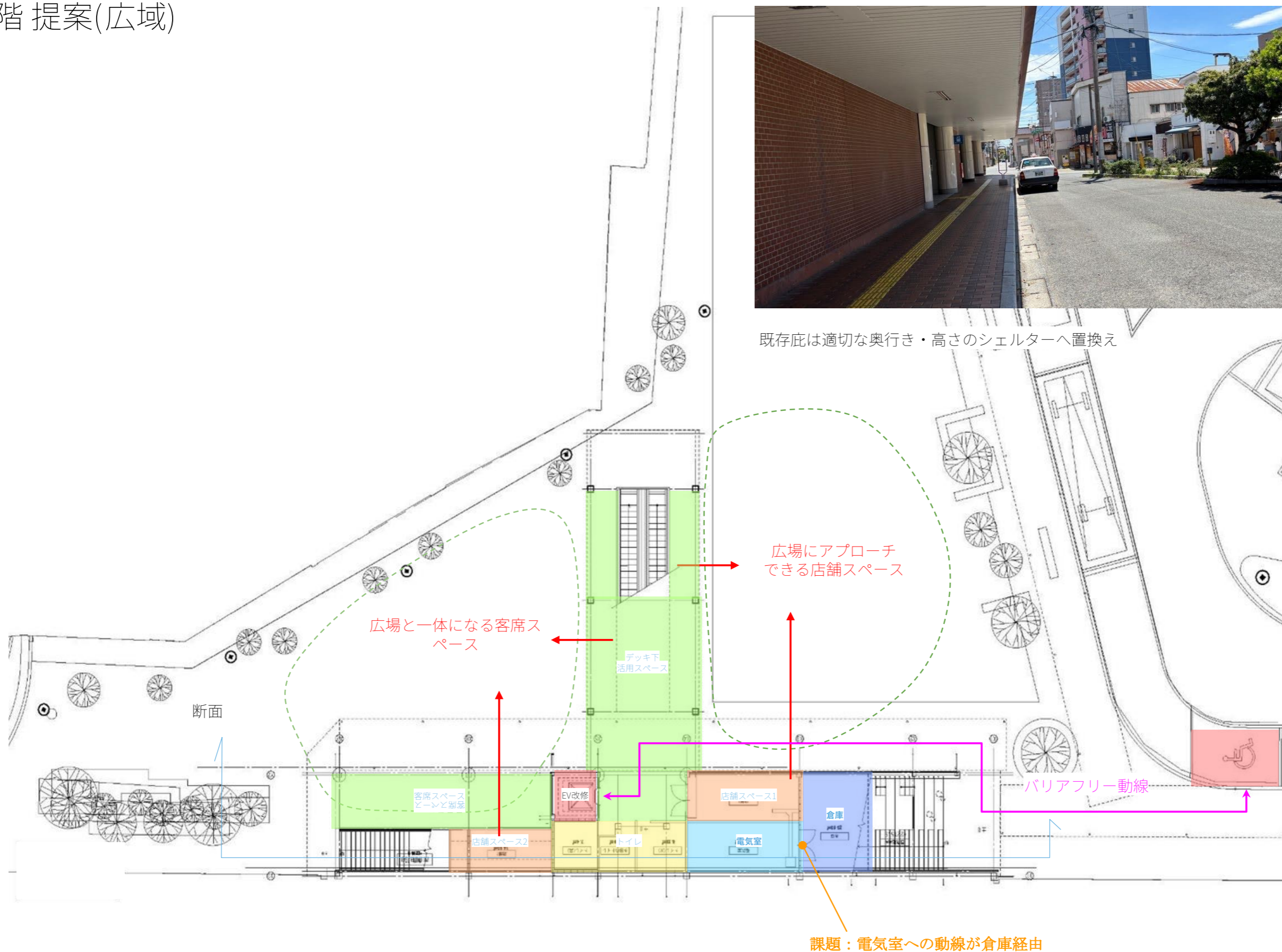
- ・駅前広場の活用を促進する、デッキ下活用スペース、倉庫、トイレを設置
- ・チャレンジスペースは5-6坪の小規模店舗とし、駅前出店の事業者を育てる場として、南北に2店舗
- ・既存電気室は現状の容量に合わせて調整
- ・南階段の吹き抜け空間を利用した客席、滞在スペース
- ・既存EVは設備の状況に応じて改修
(既存かご内寸はバリアフリー基準を満たす)

5～6坪の駅前
チャレンジショップ
※事業者を育てる場

トイレは中央に多目的、
両端に男(小1大1)・女(大2)

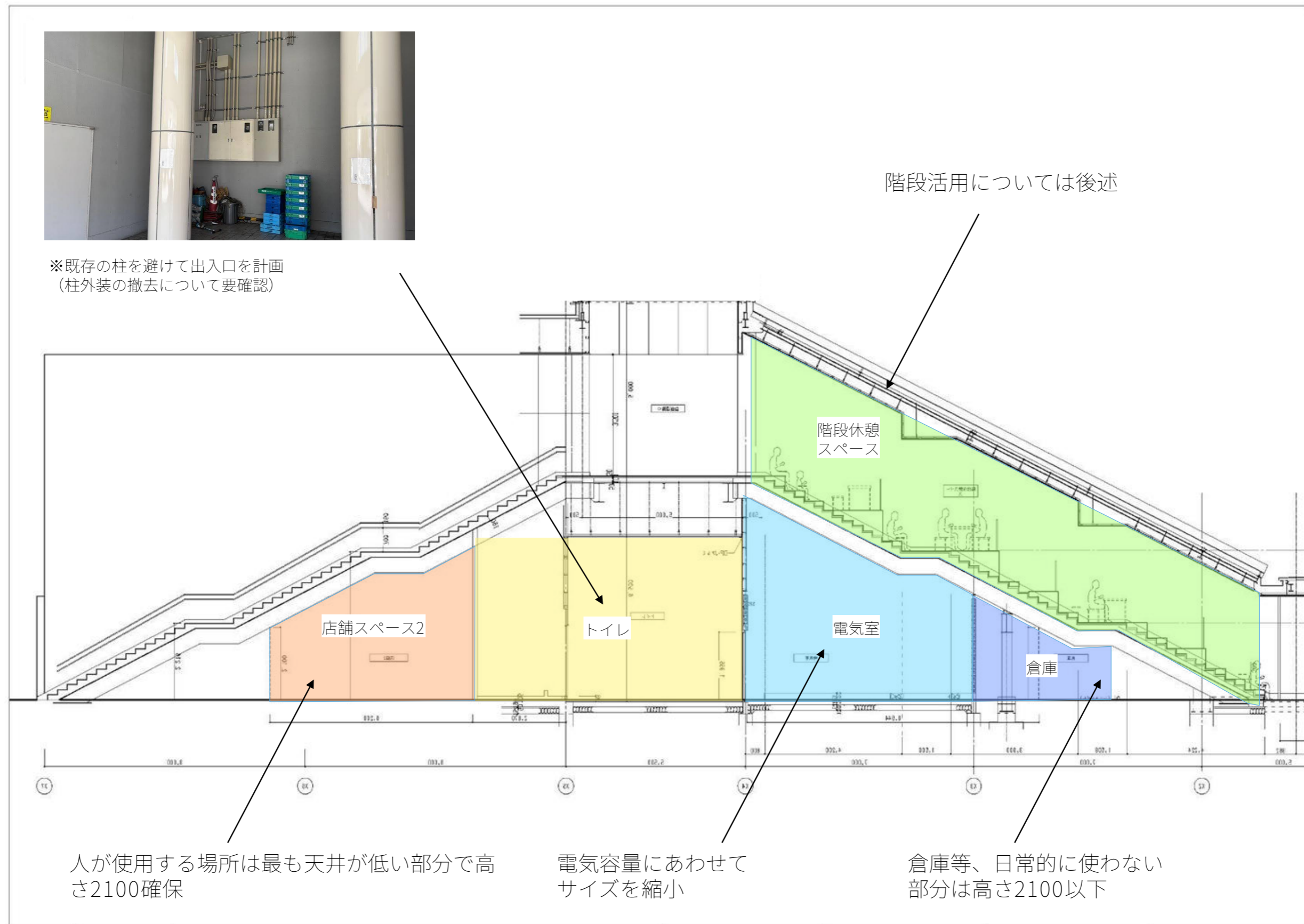
3-2 自由通路・駅舎の計画

1階 提案(広域)



3-2 自由通路・駅舎の計画

断面図

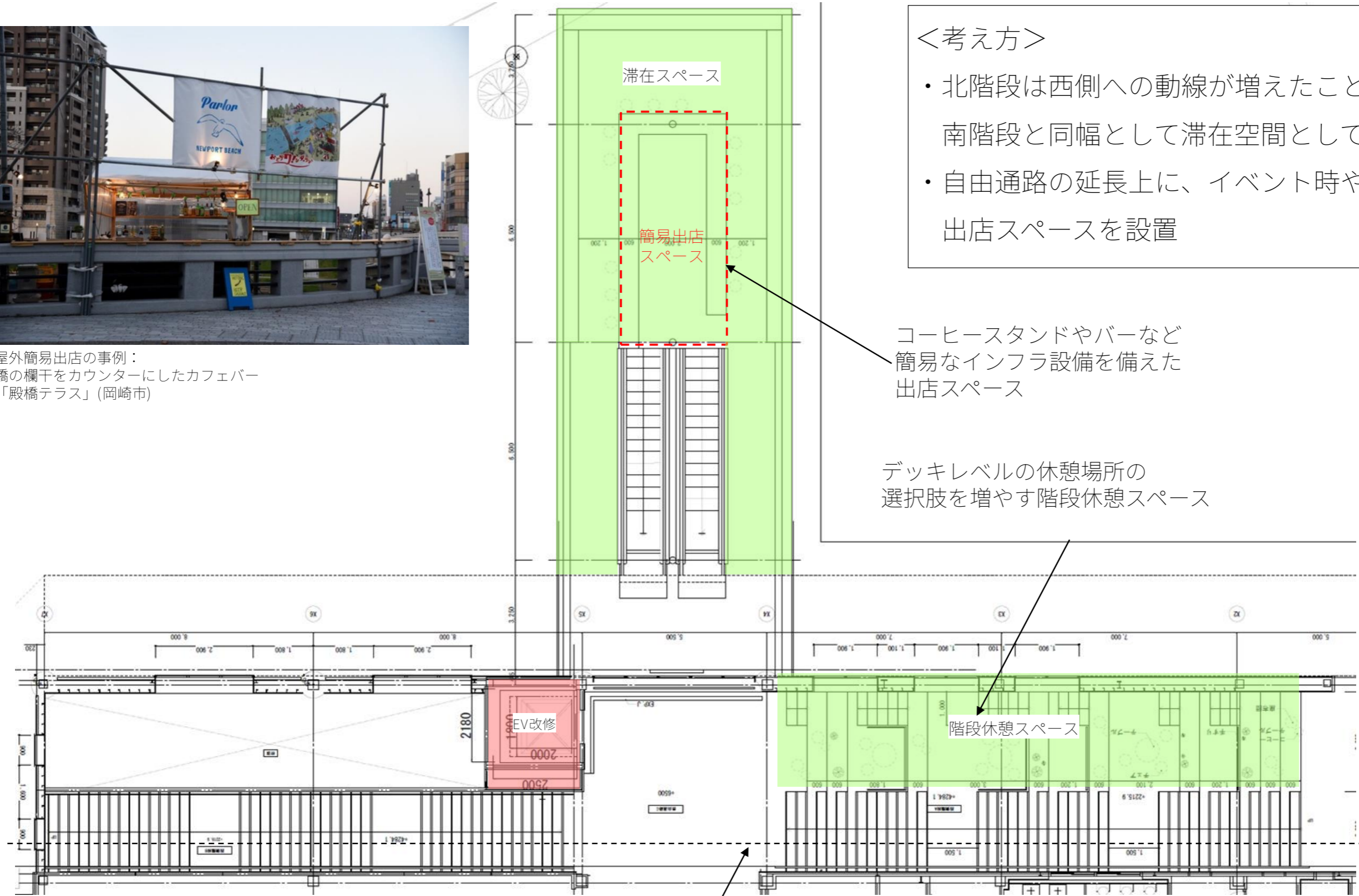


3-2 自由通路・駅舎の計画

2階 提案(狭域)



屋外簡易出店の事例：
橋の欄干をカウンターにしたカフェバー
「殿橋テラス」(岡崎市)



＜考え方＞

- ・北階段は西側への動線が増えたことにより南階段と同幅として滞在空間として活用
- ・自由通路の延長上に、イベント時や簡易出店スペースを設置

コーヒースタンドやバーなど簡易なインフラ設備を備えた出店スペース

デッキレベルの休憩場所の選択肢を増やす階段休憩スペース

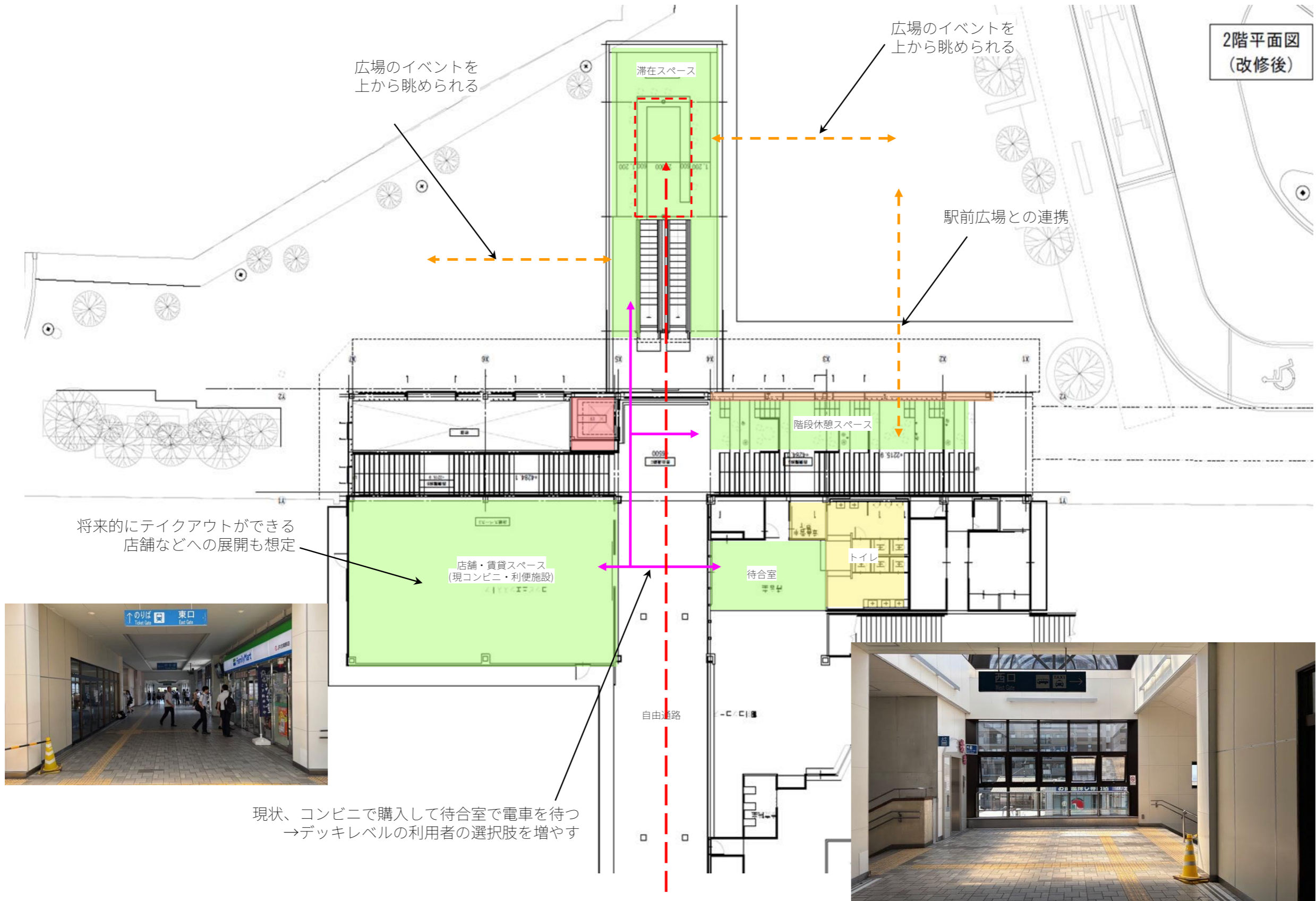
南側階段と同じ階段幅に調整

3-2 自由通路・駅舎の計画

2階 提案(広域)

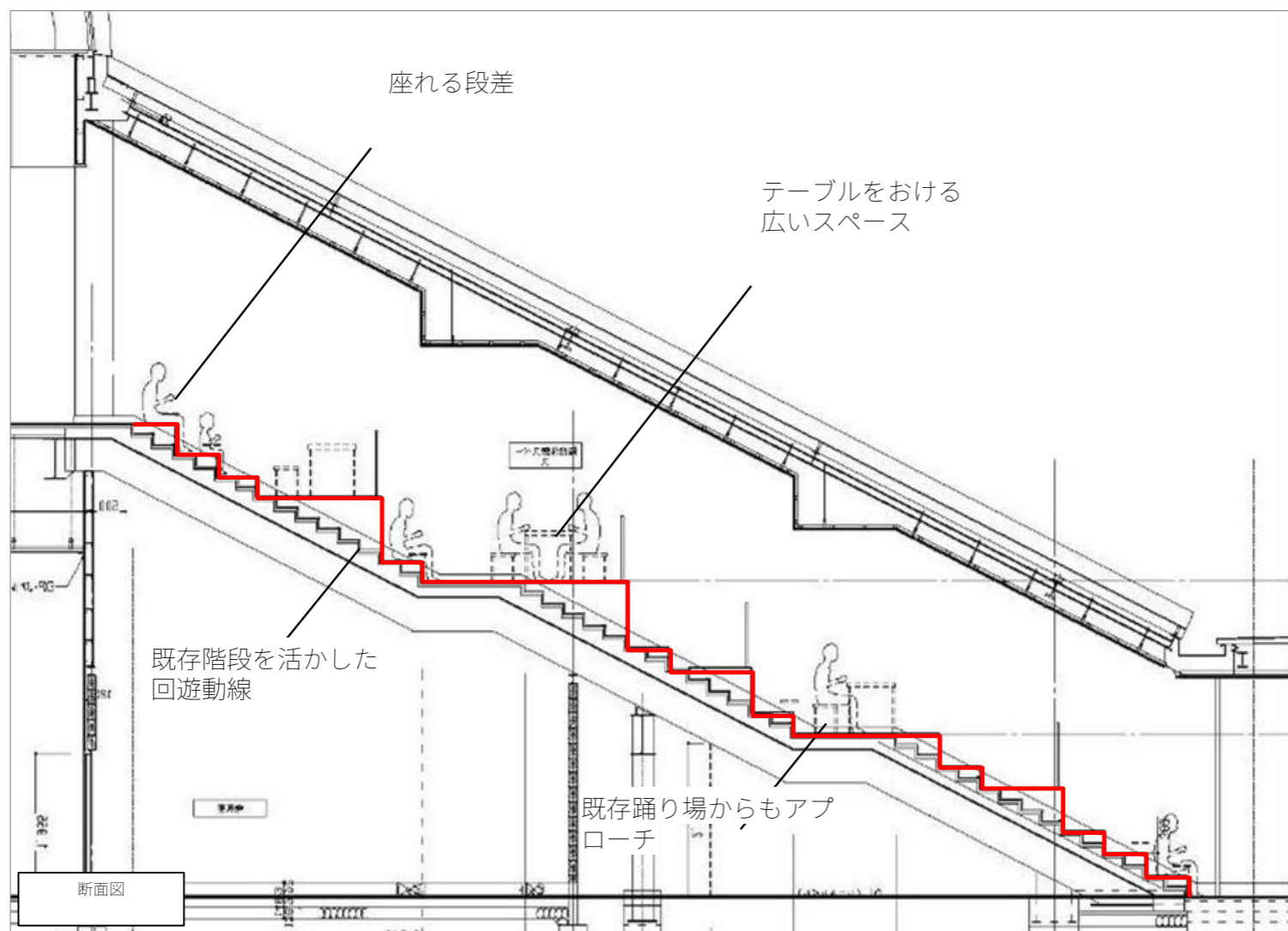
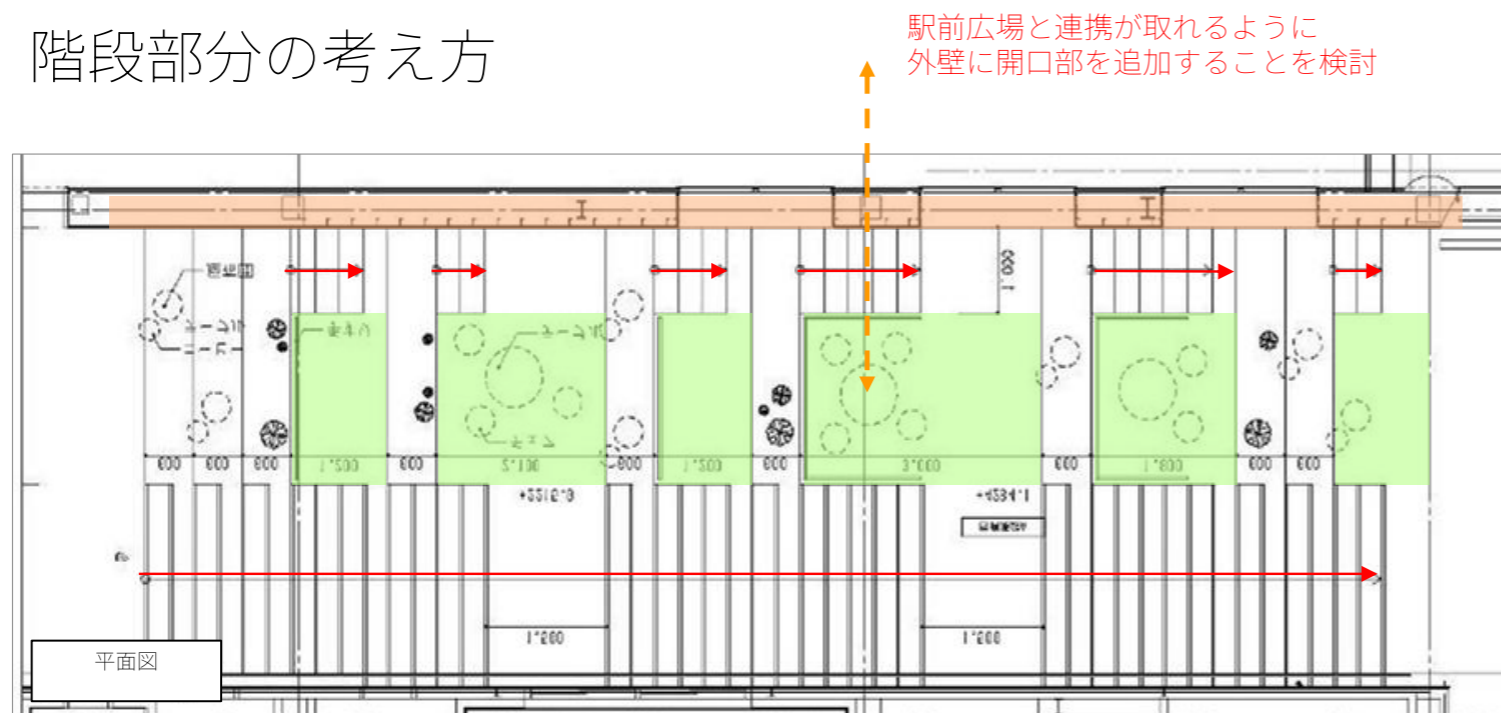
自由通路からアイストップとなる位置に簡易出店スペースを配置

2階平面図
(改修後)



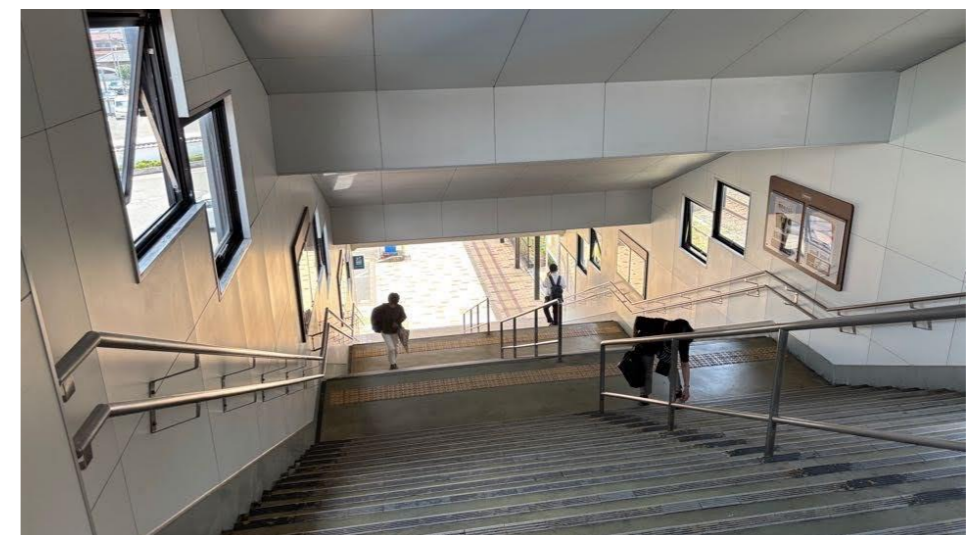
3-2 自由通路・駅舎の計画

階段部分の考え方



<考え方>

- 交通量が分散された余剰スペースを活用した滞在空間
- 数段分の奥行きを使った休憩スペース
- テーブルをおける広いスペースと座れる段
- 手元にコーヒーテーブルや座面を設える
- 駅前広場側の階段を一部利用した回遊動線
- 上下の視線を遮る植栽等を配置

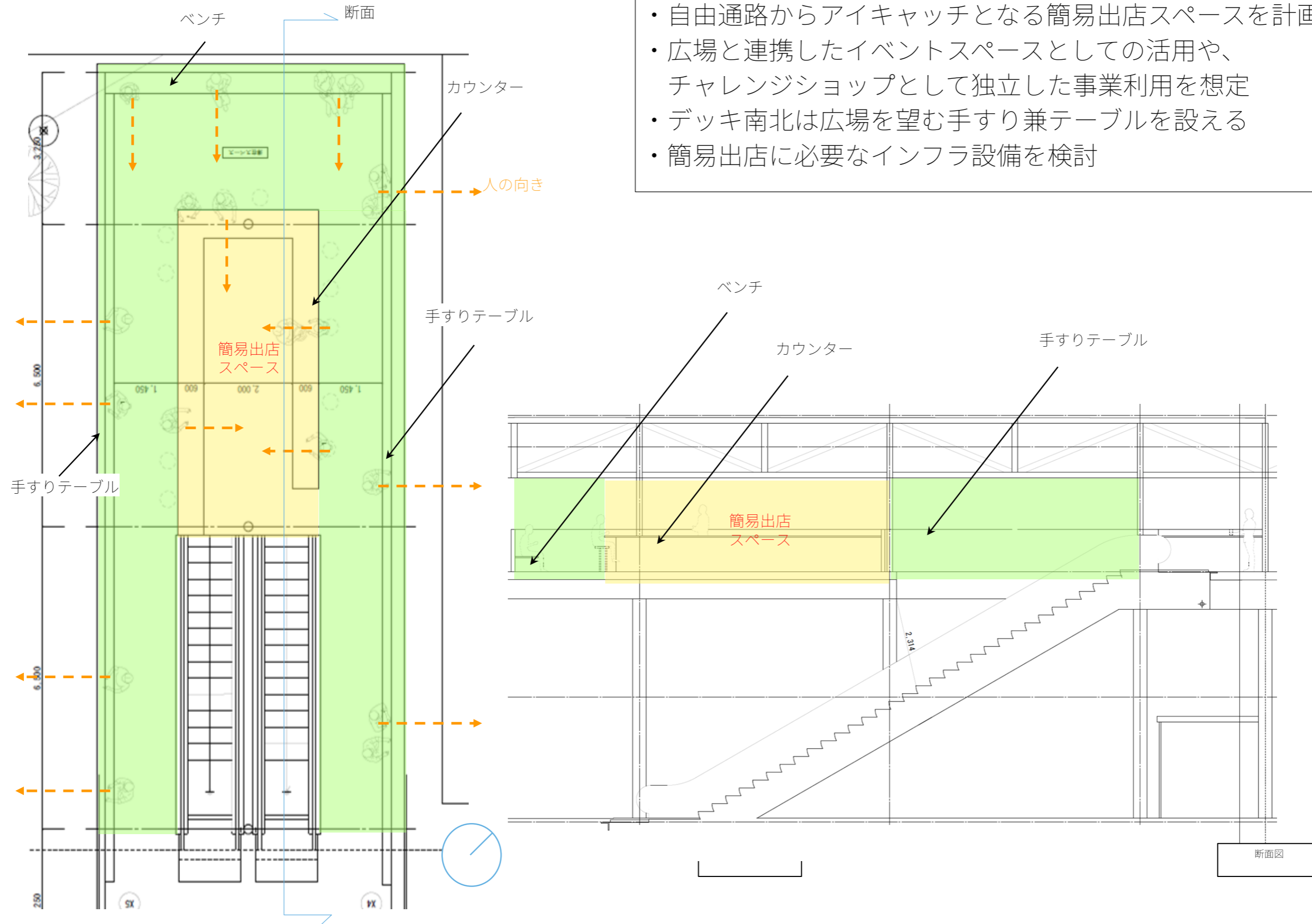


3-2 自由通路・駅舎の計画

2階デッキ部分の考え方

<考え方>

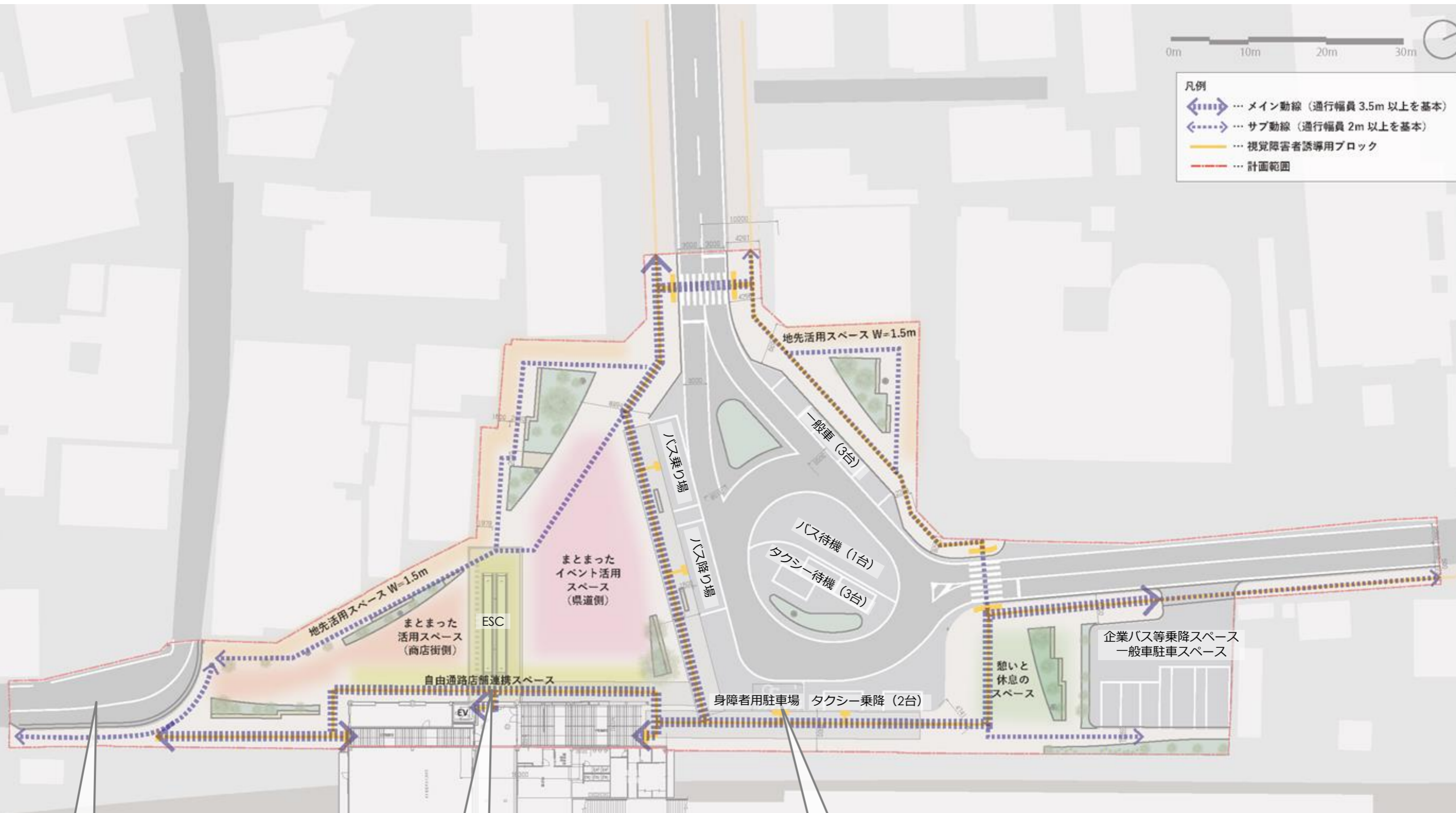
- ・自由通路からアイキャッチとなる簡易出店スペースを計画
- ・広場と連携したイベントスペースとしての活用や、チャレンジショップとして独立した事業利用を想定
- ・デッキ南北は広場を望む手すり兼テーブルを設える
- ・簡易出店に必要なインフラ設備を検討



4-1 駅前広場の計画平面図（動線・交通施設計画）



4-1 駅前広場の計画平面図（動線・交通施設計画）



前回からの主な変更点③
 商店街側の道路線形および
 荷捌きスペースの形状を更新

前回からの主な変更点①
 自由通路及び昇降施設等の配置を変更
 それに伴い利活用広場の取り方や
 植栽帯・ベンチ等の施設の配置を更新

前回からの主な変更点②
 身障者バス配置を変更
 (ロータリー内の車両動線と干渉せず
 駐車できる配置に修正)

4-2 駅前広場の整備イメージ



鳥瞰イメージ

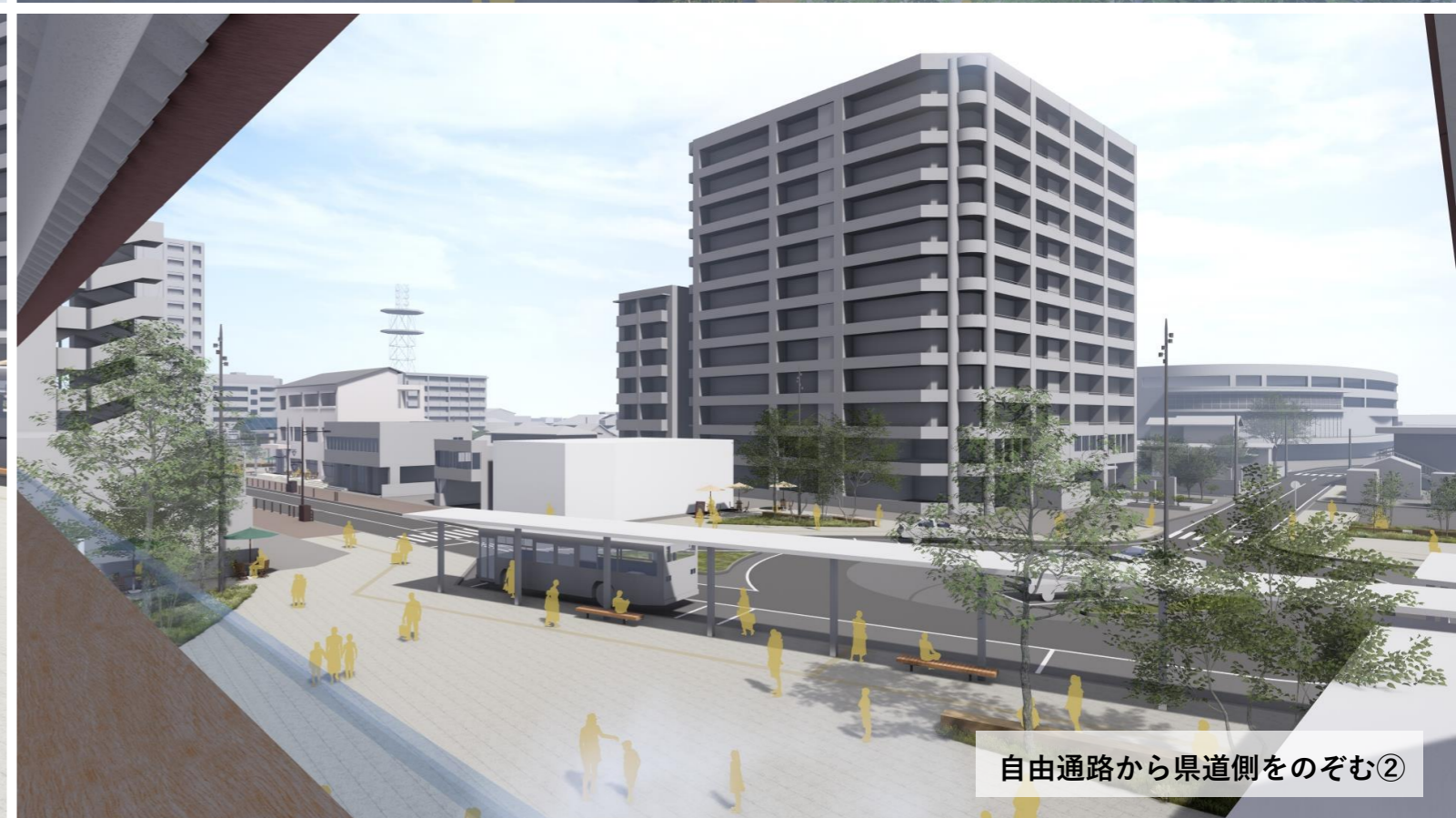
4-2 駅前広場の整備イメージ



4-2 駅前広場の整備イメージ



4-2 駅前広場の整備イメージ



4-2 駅前広場の整備イメージ

